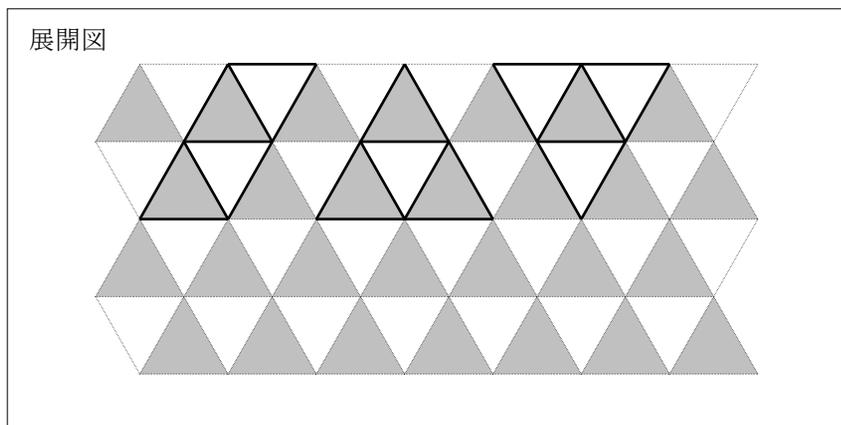


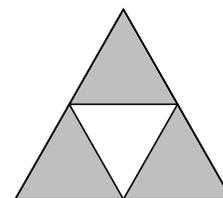
答 3通り

(展開図の解答例)

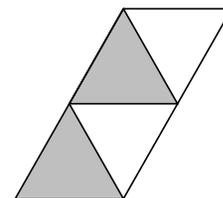


解説 与えられた図は、色つきの正三角形と色なしの正三角形が必ずとなり合っているので、色つきの正三角形4枚で立体を作ることも、反対に色なしの正三角形4枚で立体を作ることもできません。したがって、立体の作り方として考えられるのは、次の①②③の場合に限られます。

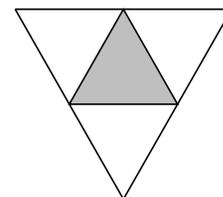
- ① 色つきの正三角形3枚，色なしの正三角形1枚で立体を作る場合。
この場合の展開図は右のように描けます。



- ② 色つきの正三角形2枚，色なしの正三角形2枚で立体を作る場合。
この場合の展開図は右のように描けます（他にも色つきの正三角形2枚，色なしの正三角形2枚になる展開図を考えることができますが，立体を組み立てたとき「回転して同じぬり方になる立体は同じもの」と考えるので，まとめて1通りになります）。



- ③ 色つきの正三角形1枚，色なしの正三角形3枚で立体を作る場合。
この場合の展開図は右のように描けます。



以上より，立体を作ると3通りのぬり方の立体ができます。展開図には，①②③で考えた図をそれぞれ描き込みます（②の図は，色つきの正三角形2枚，色なしの正三角形2枚になるように描かれてあり，組み立てたときに問題で与えられた立体になれば，他の描き方でも正解です。また，どの2つの展開図も重ならないように描いてあれば，それぞれの図を描き込む位置は解答例と異なっても構いません）。